

令和5年度事業報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人 福祉オンブズおかやま

1 事業実施の成果

1) 特定非営利活動に係る事業

(1) 福祉・医療サービス人権相談事業

昨年度も毎週日曜日に電話相談を設けました。令和5年度は46回の相談日を設けました。

今年度対応した相談ケースとして、有料老人ホームにおける不適切ケア、虐待案件の事案に取り組みました。

相談者	主訴	対応	結果
身体障害のある在宅生活者からの相談	訪問介護事業所事業停止に伴う代替サービスへの斡旋を当該事業所が行わなかった件	岡山市事業者指導課 障害者・障害児の事業所担当者に、当該事業所の事業停止の確認を行った。	岡山市障害者・障害児の事業所担当者との交渉は不調に終わる。その一方で、相談者には、相談支援事業所が仲介し他障害者福祉サービス事業所が紹介された。
身体障害のある在宅生活者からの相談	訪問介護事業所の訪問介護員による訪問記録を紙媒体として訪問者宅に提示しなかった件および電子媒体への入力を訪問介護員個人所有のスマートフォンから行うことでの情報管理の脆弱性の件	当該事業所が使用するアプリケーションを提供している企業に利用規約について問い合わせを行った。	当該事業所は、アプリケーションの利用規約違反をしていなかったが、個人情報保護に対する懸念が払しょくには至らなかった。

有料老人ホーム 利用者の家族	有料老人ホームにおける 高齢者虐待に関する、当 該事業所および岡山市の 対応の件	当法人にたどり着く までに相談者自身が 当該有料老人ホーム に何度も改善要求し ていた。それらの聞 き取り、及び岡山市 高齢福祉課への通報 に同行した。	今回の事案を経て、岡 山市の高齢者虐待対 応の課題が見えてきた 。行政情報開示を含め 、継続案件となってい る。
-------------------	---	---	---

令和5年度は、上記案件に取り組みました。有料老人ホームにおける案件は、当該有料老人ホームだけでなく、所管する行政にも課題があると考えられました。そこで、令和6年度においても継続いたします。また、この案件を通じ、令和6年度において高齢者虐待対応の行政の仕組みの点検に視点を置く調査研究事業にもつなげたいと考えています。

(2)調査研究事業

「岡山県における高齢者・障害者世帯に対するごみ出し支援制度の実態調査」を行いました。この調査の結果、ごみ出し支援制度がある自治体は、岡山県全体で29.6%（8自治体：岡山市、倉敷市、津山市、笠岡市、井原市、浅口市、和気町、矢掛町）となることが明らかになりました。調査結果は、令和6年1月22日に開催された第28回岡山県保健福祉学会で発表しました。また、調査報告書のお披露目として、3月9日の「（オンライン）福祉オンブズカフェ」で報告し、参加者との質疑を行いました。

(3)人材育成事業

第10回定時総会記念講演として、初代「福祉オンブズおかやま」代表の奥津亘さんに、「どうする福祉オンブズおかやま」と題しお話をしてもらいました。参加者数は20人でした。

福祉に関わる話題をオンラインで話し合う「福祉オンブズカフェ」を隔月で計5回行いました。参加者は、延べ51人でした。今年度開催した各回のテーマ等は後述の一覧表の通りです。

令和5年度も令和5年度岡山市人権啓発活動補助金事業として、人権・福祉講座を3月30日に開催しました。今回は、「障害者にとって本当の相談支援専門員とは―伴走型支援を目指して―」と題し、石関里美さん（保護者・当事者・たんぽぽネットワーク会員）と山本博宣さん（岡山市障害者基幹相談支援センター主任相談支援専門員）のお二人に登壇していただき、それぞれの立場から問題提起をしていただきました。参加者数は30人でした。

(4) 情報公開事業

WEB 上において、当法人の情報を発信しました。例年同様に SNS (Facebook) 及び当法人公式ホームページに活動予告並びに告知を行いました。日曜の電話相談 (計 46 回) や福祉オンブズカフェ (オンライン、計 5 回)、人権・福祉講座といった活動情報を掲載しました。また、第 15 回福祉オンブズおかやまカフェ (3 月 9 日実施) の話題提供パートを動画配信 (YouTube) にて試験的に公開しました。

他にも、相談案件 (有料老人ホームの件) に関する行政情報開示請求を岡山市に行いましたが、一部非開示の決定を受けました。

(5) 出版事業

調査研究事業で取り組んだ「岡山県における高齢者・障害者世帯に対するごみ出し支援制度の実態調査」の報告書を作成しました。報告書は、各自治体関係者に送付及び当法人のホームページで無料ダウンロード可能とする予定です。当法人の調査結果を幅広い立場に利用してもらい、住民にとって使いやすい制度を構築する上で役立ててほしいと考えています。

(6) その他、法人の目的を達成するために必要な事業

「令和 5 年度岡山市人権啓発活動補助金」を獲得しました。この補助金は、令和 5 年度人権福祉講座「障害者にとって本当の相談支援専門員とは—伴走型支援を目指して—」に充てることができました。

2) その他の事業

(1) 出前教室事業

当面の休止を継続しています。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
福祉・医療サービス人権相談事業	岡山県内の社会福祉サービス関係者から寄せられた人権問題に関する相談活動を行う。	毎週日曜日 10時～15時	事務所 (岡山市北区野田5-8)	6名	一般市民多数	34

			-11)			
調査研究事業	第28回岡山県保健福祉学会にて「岡山県における高齢者および障害者世帯のためのごみ出し支援制度に関する実態調査」と題して発表	令和6年 1月22日	岡山県 総合福祉・ボランティア・NPO会館	2名	学会参加者多数	77
人材育成事業	福祉オンブズカフェ 第11回「帰る家、安心を支える活動の現場から」新名雅樹さん（NPO法人岡山きずな相談員） 第12回「強度行動障害について知ろうーどうすれば、うまくいく?ー」川西大吾さん（社会福祉法人職員） 第13回「岡山市母子政策の過去と現在について-現場から伝えたいこと」能勢睦江さん（保健師） 第14回「始動!おかやま精神医療アドボケイトセンターーその入院、長すぎませんかー」則武透さん（弁護士） 第15回「岡山県のごみ出し支援制度の実態報告」藤井宏明（当法人副理事長） 第10回総会記念講演「どうする福祉オンブズおかやま」奥津亘さん（弁護士）	令和5年 7月22日 (土) 9月23日 (土) 11月25日 (土) 令和6年 1月27日 (土) 3月9日 (土) 令和5年5月28日	オンライン オンライン オンライン オンライン オンライン オンライン併用で岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館	5名 6名 5名 3名 6名 7名	一般市民 延51名 一般市民13名	67

	令和5年度人権福祉講座 「障害者にとって本当の相談支援員とは一伴走型支援を目指してー」石関里美さん、山本博寛さん、	令和6年 3月31日	岡山県 総合福祉・ボランティア・NPO 会館 (岡山市 北区 南方二 丁目13 -1)	6名	一般市 民27名	
情報公開事業	当法人の活動を随時、ホームページおよびFacebookにて情報公開を行った。 岡山市に対し、相談案件に関連し、情報公開請求を行った。	随時 令和5年 12月7、1 4日	事務所 (岡山市 北区 野田5-8 -11) 市役所	1名	一般市 民多数	9
出版事業	過去の当法人が開催した「福祉オンブズ相談員養成講座」などの内容をまとめる。	実施せず —	—	—	—	0

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	支出額(千 円)
出前教室事業	当法人の役員らの技能を他団体の学習に貢献する出前事業。	実施せず	—	—	—

法人名： 特定非営利活動法人福祉オンブズおかやま

活動計算書

2023年 4月 1日 ～ 2024年 3月 31日 まで

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	141,000	141,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	12,556	12,556
3. 受取助成金等		
受取地方公共団体補助金	17,789	17,789
4. 事業収益		
人材育成事業収益	25,000	25,000
5. その他収益		
受取利息	0	0
経常収益計		196,345
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
広告宣伝費	9,128	
印刷製本費	79,394	
旅費交通費	3,830	
通信運搬費	38,131	
消耗品費	19,164	
諸謝金	30,000	
賃借料	5,880	
雑費	1,930	
その他経費計	187,457	
事業費計		187,457
2. 管理費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
印刷製本費	21,926	
通信運搬費	48,348	
消耗品費	1,500	
雑費	2,310	
その他経費計	74,084	
管理費計		74,084
経常費用計		261,541
当期正味財産増減額		△ 65,196
前期繰越正味財産額		551,774
次期繰越正味財産額		486,578

法人名： 特定非営利活動法人福祉オンブズおかやま

貸借対照表

2024年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	508,964		
未収金	17,789		
流動資産合計		526,753	
2. 固定資産			
有形固定資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			526,753
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	10,175		
前受金	30,000		
流動負債合計		40,175	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			40,175
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		551,774	
当期正味財産増減額		△ 65,196	
正味財産合計			486,578
負債及び正味財産合計			526,753

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業費の内訳
事業費の区分は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	人権相談事業費	調査研究事業	人材育成事業費	情報公開事業費	事業費計
(1) 人件費					
人件費計	0	0	0	0	0
(2) その他経費					
広告宣伝費				9,128	9,128
印刷製本費		71,200	8,194		79,394
旅費交通費	3,830				3,830
通信運搬費	28,723	5,964	3,444		38,131
消耗品費			19,164		19,164
諸謝金			30,000		30,000
賃借料			5,880		5,880
雑費	1,600	165	165		1,930
その他経費計	34,153	77,329	66,847	9,128	187,457
合 計	34,153	77,329	66,847	9,128	187,457

3. 使途等が制約された寄付金等の内訳
使途が制約された寄付金等はありません。当法人の正味財産は486,578円ですが、そのうち使途が制約された財産はありません。

法人名： 特定非営利活動法人福祉オンブズおかやま

財産目録

2024年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	57,990		
ゆうちょ銀行	222,729		
広島貯金事務センター	228,245		
ろうきん	0		
未収金			
岡山市 補助金	17,789		
流動資産合計		526,753	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			526,753
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金			
未払金			
NTTファイナンス 電話料2・3月分	5,418		
NTTドコモ 電話料3月分	4,757		
前受金			
前受会費	30,000		
流動負債合計		40,175	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			40,175
正味財産			486,578

前事業年度の年間役員名簿

(令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月 31日)

特定非営利活動法人 福祉オンブズおかやま

No.	役職名	氏 名	住 所 又 は 居 所	就 任 期 間	報 酬 を 受 け た 期 間
1	理事長	高崎和美		令和5年4月1日～ 同 6年3月31日	報酬無し
2	副理事長	藤井宏明		令和5年4月1日～ 同 6年3月31日	報酬無し
3	理事	呉 裕麻		令和5年4月1日～ 同 6年3月31日	報酬無し
4	同	神崎希望		令和5年4月1日～ 同 6年3月31日	報酬無し
5	同	猶原真弓		令和5年4月1日～ 同 6年3月31日	報酬無し
6	同	藤本統久		令和5年4月1日～ 同 6年3月31日	報酬無し
7	監 事	今岡清廣		令和5年4月1日～ 同 6年3月31日	報酬無し
	同	梶原行正		令和5年4月1日～ 同 6年3月31日	報酬無し

【備考】

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
- 2 「役職名」の欄には、理事、監事又は理事の職名を定めている場合はその職名の別を記載する。
- 3 「住所又は居所」の欄には、各役員住所又は居所を証する書類の記載どおりに記載する。
- 4 「就任期間」の欄には、左に記載された役員全員についてそれぞれ記載し、「報酬を受けた期間」の欄については、報酬を受けたことがある役員はその期間を、報酬を受けなかった役員については「報酬無し」とそれぞれ記載する。